

まち・ひと・しごと創生

第2期別府市総合戦略

～ まちをまもり、まちをつくる。べっぷ未来共創戦略 ～

《概要版》

令和2年3月

令和4年3月(一部改訂)

別府市

まち・ひと・しごと創生 第2期別府市総合戦略の策定について

1. まち・ひと・しごと創生 第2期別府市総合戦略の策定に当たって

人口急減・超高齢化という我が国が直面する大きな課題に対し、国では「まち・ひと・しごと創生法」を制定し、各地方公共団体においては、平成27年度内の「地方人口ビジョン」及び「地方版まち・ひと・しごと創生総合戦略」の策定が努力義務とされた。

これを受け、別府市(以下「本市」という。)では、「まちをまもり、まちをつくる。べっぷ未来共創戦略」(以下「総合戦略」という。)を策定するに当たり、「産・官・学・金・労・言」を始めとする民間事業者などの関係者から成る「べっぷ「感動・共創・夢」会議」を設置し、全6回の会議及び1回の別府市民拡大版での討議などを経て、「人口ビジョン」及び「総合戦略」を策定した。

総合戦略の実施に当たっては、戦略の施策効果の検証などを実施するため、平成28年度に別府市総合戦略推進委員会を設置し、毎年度、別府の創生に向けた議論と実践を推進している。

この度、令和2年度から始まる「別府市総合計画」及び第2期「総合戦略」を一体的に策定するため、本市の職員で構成する専門部会にて「総合戦略」の案を作成し、別府市総合計画・総合戦略審議会での全5回の審議及び2回の別府市民拡大版での討議を行い、この「総合戦略」の策定に至った。

策定に至るまでの各会議などにおいては、本市のまち・ひと・しごとに関する、強み・資源、弱み・課題、施策・取組の実施状況や成果などに加え、国や県の総合戦略なども踏まえ、4つの基本目標と基本的方向、施策や取組、KPIなどを「総合戦略」として取りまとめた。

総合戦略の策定は、本市の「誇り」を再建し、新たな「誇り」を創生する挑戦である。

2. 総合戦略の位置付け

本市は、豊富な温泉、美しく特色ある自然や景観、国際色豊かな大学、充実した医療・福祉、発信力のある文化・芸術などのイベント、そして、多様な人材など、魅力ある資源を豊富に有している。それらの資源が国際観光温泉文化都市という特性をいかし、本市が育ててきた多様性と受容性の礎となっている。

まちをまもり、まちをつくり、べっぷの未来を共創するためには、本市が有する様々な資源をより有効にいかしていくことが求められる。そのための指針とするために、総合戦略を策定した。

本市の地方創生は、総合戦略を基軸として積極的に推進する。検討した各施策は、現場主義のもと、できることからすぐに実行することなどを基本姿勢として取り組むものである。

3. 総合戦略の計画期間

総合戦略の計画期間は、令和2年度から令和6年度までの5年間とする。

総合戦略の基本方針

1. まちの将来像

本市は、これまで国際観光温泉文化都市という、「まち」の特性をいかして、多様性と受容性を育ててきた。本市は、近時、2000年の立命館アジア太平洋大学(以下「APU」という。)開学と既存の別府大学・別府溝部学園短期大学の存在があいまって、「温泉のまち」に加えて、多文化共生の「大学のまち」という新しい顔を持つに至った。

本市の地方創生の取組を検討するに当たって、「ひと」こそが最も重要で貴重なかけがえのない「資源」であると認識し、「ひと」を守り、「ひと」をいかすことを第一に考え、温泉を始めとした産業・歴史・伝統・文化を徹底的に磨くことで、この「まち」の未来に新たな価値を創造することを念頭に置いた。

総合戦略と並行して策定した本市の「人口ビジョン」では、国立社会保障・人口問題研究所の推計と本市の現実を直視した上で、次のとおり、目標人口を定めた。

目標人口 2015年:122,138人 ⇒ 2040年:103,944人、2060年:92,434人

もとよりこの「目標人口」に満足しているわけではない。この数字は、これ以上後退してはならないという意味での「目標人口」でもある。

「まち」まもりと「まち」づくりの情熱と判断力を駆使しながら、堅い板に力を込めて、じわっじわっと穴をくり貫いていく作業を繰り返すように、総合戦略で策定した施策を着実に実行することによって、「まち」をまもり、「まち」をつくり、べっぷの未来を共創する。

2. 基本目標、基本的方向、具体的な施策と取組

詳細は、次のページ以降に記載している。

3. 施策効果の検証などの実施

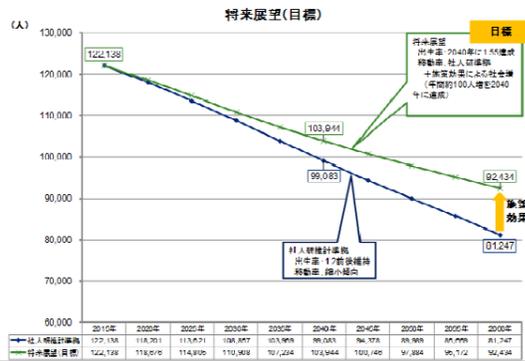
施策効果の検証と改善については、その着実な実現に向け、市民や各種団体などの参画を得て、平成28年度に設置した別府市総合戦略推進委員会にて、各取組などの調査・検証を行い、その結果に基づく見直し・改善を実行しながら、必要に応じて総合戦略を改訂し、持続可能なまちの創造に向けて、挑戦を続ける。

人口ビジョン

将来展望(2060年)

目標人口:

各種施策の着実な実施により
下記の人口を確保する
2020年 118,676人
2040年 103,944人
2060年 92,434人



○自然動態

合計特殊出生率の改善

2020年 1.38*
2030年 1.46*
2040年 1.55

以降、2040年水準を維持

* 社人研の推計値(2015年の1.34から
2040年の1.55まで上昇させた場合の
中間値(推計値))

○社会動態

純移動者(転入-転出)の増

(社人研推計移動率に加え、施策効果による増加数)

2020年 年間 20人増
2030年 年間 60人増
2040年 年間 100人増
以降、2040年水準を維持

総合戦略(2020年度(令和2年度)~2024年度(令和6年度))

基本目標

《基本目標1》
しごとの創生
資源(ひと・温泉)をいかして新たな価値を創り、儲かる別府に進化する。

《基本目標2》
しごとの創生
多様性と受容性をいかして、別府に新しいひとの流れをつくり、受け入れる。

《基本目標3》
ひとの創生
ひとを大切に、別府で子どもを産み、育て、生きる。

《基本目標4》
まちの創生
ひととまちをまもり、地域と地域が連携する。

基本的方向

観光業や医療・福祉産業といった主要な産業の強みを最大限に活用し、「B-biz LINK」などとの様々な連携を通じて新しいビジネス・商品を創出し、産業振興に深みと広がりを持たせる施策・取組を進める。また、その基盤となる人材の確保や育成にも積極的に取り組む。

観光業や医療・福祉産業といった主要な産業の特性をいかして新しいひとの流れを作るとともに、二次交通や多様な就業先の確保といった暮らしに必要な環境の更なる整備を推進し、交流人口、関係人口、定住人口の増加に向け、それぞれの段階に応じた施策・取組を進める。

より一層、結婚、出産、子育てがしやすくなるよう、支援内容の細かさやワンストップでの対応、利用機会の拡充などに、地域のかも活用しながら推進する。
教育においても、学校・家庭・地域が協働し、郷土への誇りと夢を併せ持つ豊かな人間性や社会性を備えた人材育成に取り組むとともに、国際性や多様性も理解できる未来の別府市民の育成を推進する。

交通インフラの拡充、伝統・文化・新たなにぎわいの更なる創出、地域と連携した防災の推進など、ひとや地域がいきいきと活躍できるまちづくりに向け、地域と協働して施策・取組を進める。
健康なまちづくり実現のため、健康寿命の延伸や健康への意識向上を図るため、地域医療・保健・福祉と連携して施策・取組を進める。

具体的施策

施策ア 「ツーリズムバレー構想」の推進
施策イ 別府市産業連携・協働プラットフォーム「B-biz LINK」と連携した別府の活性化
施策ウ 大学などと連携した産業人材の育成・確保
施策エ いまある資源を活用したイノベーションの推進
施策オ 誰もが活躍できる環境の整備や雇用の促進
施策カ 農林水産業の活性化

施策ア 世界一の温泉観光都市への挑戦(新たな観光資源の開発と進化)
施策イ 観光筋力強化に向けた更なる取組
施策ウ 別府ブランドの構築と飛躍によるひとの流れの拡大促進
施策エ ひとを呼ぶ新しい魅力の創出
施策オ 「ツーリズムバレー構想」の推進(再掲:基本目標1 施策ア)
施策カ 交流人口の定住人口への転換

施策ア 時代とまちに即した子育て支援の充実
施策イ 全ての子どもを育む環境の充実
施策ウ 別府の未来をつくる人材の育成
施策エ 男女が出会える環境整備

施策ア 生活の質の向上実現に向けた整備
施策イ 世界一のユニバーサルデザイン都市への挑戦
施策ウ 市民を第一にした行政サービスの実現
施策エ 行政サービスの実現に向けた財源の確保
施策オ 文化を切り口にしたまちの可能性の拡大
施策カ 協働による持続可能な地域づくり
施策キ 誰もが安全安心なまちづくり
施策ク 健康を実現するまちづくり

横断的な視点

基本目標に横断的に関連する視点

多様な人材の活躍の推進

新しい時代の流れを力にすること

財源の確保

広域連携の推進

SDGsの推進

デジタルファーストの推進

基本目標1 しごとの創生 資源(ひと・温泉)をいかして新たな価値を創り、儲かる別府に進化する。

<数値目標> 労働人口に占める所得割の納税義務者数の割合 49.08%(+1%)

施策ア 「ツーリズムバレー構想」の推進

取組① 別府の観光産業に新たな風を吹かせる「起業・創業」の強力な推進

別府の観光産業の更なる活性化を図るため、既存の観光産業の育成とともに、新たな風を吹かせる多様なビジネスが創出されるよう、起業・創業の推進に取り組む。

取組② 別府に新たなビジネスを作り出す人財、別府の観光産業を担う人財の育成

別府の観光産業を活性化するための原動力となる「人財」を創出するために、あらゆるヒトとの交流の場を創出し、さらに産・学・金・官が連携して観光産業の課題解決や新たなビジネスが創出できる土壌・環境の整備に取り組む。

取組③ 別府を応援してくれるヒト・企業とのつながりの強化

別府ツーリズムバレー構想の取組を強力に進めるために必要不可欠な別府の応援団(BEPPU サポーターズ)となるヒト・企業とのネットワークを構築し、市内外から多くのサポートを受けられる仕組みを構築する。

施策イ 別府市産業連携・協働プラットフォーム「B-biz LINK」と連携した別府の活性化

取組① 「B-biz LINK」との連携

本市の地域の振興に関する諸施策と連携した活動を行い、地域経済の持続的な発展と市民の生活の向上に寄与するために設立された、市内の企業、大学、行政、地域を連携・協働のハブ機能である「B-biz LINK」と連携して事業の推進に取り組む。

施策ウ 大学などと連携した産業人材の育成・確保

取組① 大学などと連携した本市の産業を担う人材の育成

別府の産業を活性化するための原動力となる人材の育成・確保のために、教育機関と連携して人材の育成に取り組む。

取組② 大学連携の促進と地域協働の推進

大学の研究機能を活用した具体的な施策・取組の立案、大学と企業の連携によるビジネスや商品などの研究開発の促進などに取り組む。

取組③ 学生の地元就職の促進

市内の高等学校や大学で学ぶ学生の定着を図り、別府の産業人材として確保・育成していただくために、インターンシップの改善や就職マッチングイベントの開催などに取り組む。

取組④ UIJ ターンの促進や外国人労働者の受入などによる市外からの人材確保

市外から UIJ ターンする人材を別府に呼び込むため、子育て世代や市内の高等学校や大学の卒業生へのアプローチ、移住・定住の支援などに取り組む。また、外国人労働者の受入環境の整備など、市内事業者の人材確保の支援に取り組む。

施策エ いまある資源を活用したイノベーションの推進

取組① 竹産業のイノベーション

新たな竹産業の確立・振興に向けたイノベーションの創出のため、担い手の確保と環境の整備、異業種などと連携し、ブランド力向上に取り組む。また、竹製品をおもてなしのツールとして活用した「竹細工のまち」を演出し、観光客の満足度の向上に取り組む。

取組② 温泉を活用したビジネス展開の検討

温泉資源を新たなビジネスや商品の開発、医療などの他産業にも積極的に活用し、イノベーションを創出することに取り組む。

取組③ 勤務地・居住地に縛られない企業などの市内におけるビジネス展開の促進

温泉資源や学生(特に留学生)が多いといった本市の特徴の訴求など、IT 関連企業などの勤務地に縛られない企業やビジネスパーソンの誘致に取り組む。

施策オ 誰もが活躍できる環境の整備や雇用の促進

取組① 市内企業などの働き方の多様性の確保

働き方の多様性の向上と市内企業の人材確保の両立に向け、多様な働き方の導入支援や啓発活動、ワークライフバランスの向上支援などに取り組む。

取組② 仕事と子育ての両立ができる社会の実現

子育て世代がより活躍できるよう、多様な働き方の提案、子育てと仕事を両立できる職場の意識改革を推進し、男女が平等で仕事と生活のバランスが取れた生き方ができる社会の実現のための啓発に取り組む。

取組③ 障がい者の活躍促進

障がい者がより活躍できる環境の整備として、多様な働き方の提案、障がい者支援団体などとの連携による雇用促進などの支援に取り組む。

取組④ 高齢者の活躍促進

高齢者がより活躍できるよう、多様な働き方の提案や企業とのマッチング、健康で安心して働ける環境整備などの支援に取り組む。

施策カ 農林水産業の活性化

取組① 農林水産業の活性化

農林水産業の基盤整備を行うとともに、新規就業者などの担い手の育成・確保や経営環境の保全を図り、持続かつ発展可能な産業化に取り組む。

取組② 農林水産物の特産品化及び地産地消の推進

市内の農林水産物を活用し、関係団体などと協働・連携して地産地消、6次産業化の推進を図り、新しい特産品化に取り組む。

基本目標2 しごとの創生 多様性と受容性をいかして、別府に新しいひとの流れをつくり、受け入れる。

<数値目標> 観光客消費額 95,211 百万円(+8,656 百万円)、総観光客数 9,947 千人(+904 千人)、宿泊者数 2,775 千人(+252 千人)

施策ア 世界一の温泉観光都市への挑戦（新たな観光資源の開発と進化）

取組① 温泉を活用したスパリゾートの開発

「東洋のブルーラグーン(仮称)」などの温泉スパリゾートを民間資本の活用などにより新たに整備し、市有地を有効活用するとともに、本市の新しい強力な観光資源として、観光客の更なる増加に取り組む。

取組② 別府の観光温泉文化の歴史を踏まえた持続可能な集客力ある温泉観光都市づくりの推進

集客力のあるイベント、近隣観光地との連携、景観の向上、アフタービジネスの観光など、温泉観光都市としての魅力向上や情報発信に取り組む。

取組③ ユニバーサルツーリズムの先進地に向けた整備

ユニバーサルツーリズムの世界的な先進地を目指し、ハード面及びソフト面の整備に取り組む。

取組④ 外国人観光客増加に向けた受入環境の整備

外国人観光客の増加に向け、これまで実施してきた受入環境の拡充に加え、新たな技術やサービスの導入による更なる利便性の向上に取り組む。

取組⑤ 地域公共交通の利便性向上

日常生活や観光における移動手段の確保のため、交通事業者との連携を通じて、バスやタクシーの更なる活用の促進策に取り組む。

取組⑥ 観光客に対するおもてなし体制の整備・強化

宿泊事業者や観光事業者に対する教育や外国語対応といった基本なおもてなしの強化、MICE や大規模イベントに係る来訪者に対するニーズに応じたおもてなしの推進などに取り組む。

取組⑦ 竹産業のイノベーション〔再掲：1(エ)①〕

新たな竹産業の確立・振興に向けたイノベーションの創出のため、担い手の確保と環境の整備、異業種などと連携し、ブランド力向上に取り組む。また、竹製品をおもてなしのツールとして活用した「竹細工のまち」を演出し、観光客の満足度の向上に取り組む。

施策イ 観光筋力強化に向けた更なる取組

取組① 別府版 DMO 機能の強化

別府版 DMO 機能として、「B-biz LINK」との更なる連携に取り組み、観光商品の開発、マーケティング、ブランディングなどの観光振興策に戦略的に取り組む。

取組② 観光戦略のデジタルファースト

デジタルの力を活用し、マーケティング・広報の改革・強化を図り、別府の稼ぐ力の増強に取り組む。

施策ウ 別府ブランドの構築と飛躍によるひとの流れの拡大促進

取組① 多様なシティプロモーションの強化

ブランドイメージの確立と情報発信を推進し、多様なシティプロモーションの強化に取り組む。

取組② 海外プロモーションの強化による別府の魅力の世界への情報発信

外国人観光客の誘客に向け、海外向けのプロモーションや別府の魅力の世界への情報発信などに戦略的に取り組む。

施策エ ひとを呼ぶ新しい魅力の創出

取組① 市民・学生大同窓会の開催

市内の大学を卒業したOB・OGを中心に、本市と関わりのある人を対象として、市内の学生が主体となって市民と共同で年に1度の市民・学生大同窓会を開催し、本市とのつながりの維持に取り組む。

取組② ユニバーサルデザインに関連したイベントの推進

ユニバーサルデザインへの先進的な取組を一つのきっかけとして、多様なイベントの誘致や創設に取り組む。

取組③ 温泉を活用したビジネス展開の検討〔再掲：1(エ)②〕

温泉資源を新たなビジネスや商品の開発、医療などの他産業にも積極的に活用し、イノベーションを創出することに取り組む。

取組④ 民間活力の導入を含む公園や海岸などの有効活用

新たなひとの流れの創出を目指し、景観や環境に優れた本市の公園や海岸を更に活用し、スポーツ大会やイベントなどの誘致や主催に取り組む。

取組⑤ 様々なスポーツイベントの開催推進

本市の多様な自然環境をいかし、「別府」を冠するなどの多様なスポーツイベントの誘致、創設、主催、温泉をいかしたメリットの訴求や継続的なイベントとしての位置づけなどに取り組む。

施策オ 「ツーリズムバレー構想」の推進〔再掲：1(ア)〕

取組① 別府の観光産業に新たな風を吹かせる「起業・創業」の強力な推進

別府の観光産業の更なる活性化を図るため、既存の観光産業の育成とともに、新たな風を吹かせる多様なビジネスが創出されるよう、起業・創業の推進に取り組む。

取組② 別府に新たなビジネスを作り出す人財、別府の観光産業を担う人財の育成

別府の観光産業を活性化するための原動力となる「人財」を創出するために、あらゆるヒトとの交流の場を創出し、さらに産・学・金・官が連携して観光産業の課題解決や新たなビジネスが創出できる土壌・環境の整備に取り組む。

取組③ 別府を応援してくれるヒト・企業とのつながりの強化

別府ツーリズムバレー構想の取組を強力に進めるために必要不可欠な別府の応援団(BEPPU サポーターズ)となるヒト・企業とのネットワークを構築し、市内外から多くのサポートを受けられる仕組みを構築する。

施策カ 交流人口の定住人口への転換

取組① ふるさと納税を入り口にした関係人口の増加

湯のまち別府ふるさと応援寄附金により、別府の認知度・好感度を向上させるとともに、返礼品として別府とのつながりをより強くもってもらい、別府への訪問の機会を創出する仕掛けに取り組む。

取組② 移住の促進及び定着に向けた積極的な取組

移住や定住の促進に向け、別府への移住や定住に関する支援策などを整備し、その魅力とともに情報発信に取り組む。

取組③ 高齢者の活躍促進〔再掲：1(オ)④〕

高齢者がより活躍できるよう、多様な働き方の提案や企業とのマッチング、健康で安心して働ける環境整備などの支援に取り組む。

基本目標3 ひとの創生 ひとを大切に、別府で子どもを産み、育て、生きる。

<数値目標> 合計特殊出生率 1.55(2040年目標値。なお、2018年の現状値は1.40)

施策ア 時代とまちに即した子育て支援の充実

取組① 安心して子どもを預けられる環境整備

子育て世帯が安心して働けるようにするため、保育ニーズに対応した保育サービスの提供に取り組む。

取組② 子育て世帯の経済的負担の軽減

子育て世帯の経済的負担を軽減できるよう、子育て情報の分かりやすい周知やサービスの利用促進に取り組む。

取組③ 妊娠期から子育て期までの切れ目ない支援

妊娠、出産、子育ての不安や悩みを軽減・解消するため、切れ目ない総合的な相談対応を行うワンストップ拠点の整備や関連団体と連携した支援体制の拡充に取り組む。

取組④ 仕事と子育ての両立ができる社会の実現〔再掲：1(オ)②〕

子育て世代がより活躍できるよう、多様な働き方の提案、子育てと仕事を両立できる職場の意識改革を推進し、男女が平等で仕事と生活のバランスが取れた生き方ができる社会の実現のための啓発に取り組む。

施策イ 全ての子どもを育む環境の充実

取組① 子どもの安全安心の確保

全ての子どもの安全安心を確保するため、いじめや虐待、貧困への対策、見守り活動や注意喚起の情報発信、防犯教育の実施などに取り組む。

取組② 子どもの健康促進

子どもの健康増進に向け、むし歯や肥満の予防に対する支援、夜間や休日でも子どもが診療を受けやすい環境の整備などに取り組む。

取組③ 地域の子育て力の強化

別府市ファミリー・サポート・センター(子育てのサポートをお願いしたい会員と応援したい会員をマッチングする仕組み)の更なる利用促進や子育てを担える地域の人材の発掘や活用など、地域が持つ子育て力の強化に取り組む。

取組④ 子どもの居場所の確保

小学生が放課後などに健やかに時間を過ごせる居場所として、児童館などの活用のほか、地域で子どもを育むための高齢者などの人材の活用に取り組む。

取組⑤ 安全でおいしい学校給食の提供

小中学校及び幼稚園に安全安心で日本一おいしい学校給食を安定的に提供できる環境を整える。

取組⑥ 教育環境の整備

児童及び生徒が快適に学校生活を送れる環境を整備する。また、教職員の負担軽減を図る。

施策ウ 別府の未来をつくる人材の育成

取組① 国際人材の育成強化

海外からの観光客や留学生が多い本市の特長をいかし、世界から多様な人材に別府を訪れてもらう機会を設け、市民との接点を創出し、未来を担う国際感覚が豊かな人材の育成に取り組む。

取組② 郷土に関する学習「別府学」の実施

児童生徒の郷土への愛着と誇りを培うために、別府市の自然、歴史、文化などを学ぶ「別府学」を実施する。

取組③ 子どもの教育の質の更なる向上

別府の未来をつくる人材の育成の礎として、学校教育における質の向上に取り組む。

取組④ 大学などと連携した本市の産業を担う人材の育成〔再掲：1(ウ)①〕

別府の産業を活性化するための原動力となる人材の育成・確保のために、教育機関と連携して人材の育成に取り組む。

施策エ 男女が出会える環境整備

取組① 男女が出会える機会の創出

結婚の希望を叶えるために、市内の男女同士、市内の男女と市外の男女が出会う機会を創出するイベントの創設・開催などに取り組む。

基本目標4 まちの創生 ひととまちをまもり、地域と地域が連携する。

＜数値目標＞ 社会増減(転入者数－転出者数) 40人増(2018年の現状値は52人減)

施策ア 生活の質の向上実現に向けた整備

取組① 地域公共交通の利便性向上〔再掲:2(ア)⑤〕

日常生活や観光における移動手段の確保のため、交通事業者との連携を通じて、バスやタクシーの更なる活用の促進策に取り組む。

取組② 誰にもやさしい道づくりの促進

全ての人にとってやさしい道づくりとして、歩道や道路の改良や整備を促進するとともに、道路に不具合があった場合に市民などからすぐに通報が来るシステムの活用などに取り組む。

取組③ 民間活力の導入を含む公園や海岸などの有効活用〔再掲:2(エ)④〕

新たなひとの流れの創出を目指し、景観や環境に優れた本市の公園や海岸を更に活用し、スポーツ大会やイベントなどの誘致や主催に取り組む。

取組④ 遊休公有財産(土地・建物など)の有効活用

本市が保有する土地・建物などの遊休公有財産について、産業振興などの多目的での有効活用に取り組む。

取組⑤ 市街地を中心としたにぎわいの創出

市街地を中心としたにぎわいを創出するため、空き店舗・空きフロアの有効活用とそのため
のマッチングの仲介などに取り組む。

施策イ 世界一のユニバーサルデザイン都市への挑戦

取組① 誰にもやさしい施設整備の促進

高齢者や障がい者がまちに出たくなるよう、施設やトイレなどのバリアフリー化の推進や、乳幼児を連れた保護者が授乳やおむつ替えができる場所を提供する施設「赤ちゃんの駅」の拡充などに取り組む。

取組② 誰にもやさしい道づくりの促進〔再掲:4(ア)②〕

全ての人にとってやさしい道づくりとして、歩道や道路の改良や整備を促進するとともに、道路に不具合があった場合に市民などからすぐに通報が来るシステムの活用などに取り組む。

取組③ こころのバリアフリー化・ユニバーサルデザインの促進

部落問題をはじめ、あらゆる人権問題の解決に向け、高齢者や障がい者が気兼ねなく暮らせる住居を確保するため、心理的なハードルや物理的な制約を少なく出来るよう、不動産業者や地域のコミュニティを構成する市民を啓発する取組を行う。

施策ウ 市民を第一にした行政サービスの実現

取組① 市役所の窓口を始めとした行政サービス改革の実行

市民の利便性向上に加え、市職員の業務の効率化の実現も見据え、マイナンバーの活用などによる市民の来庁機会そのものの削減や来庁時の所要時間の短縮などに取り組む。

取組② 市役所の業務改革の実行

ICTの活用などによる行政効率の改善、多様性のある働き方による人材の確保、研修による人材育成などに取り組む、市民及び市職員にやさしい行政機関を目指す。

施策エ 行政サービスの実現に向けた財源の確保

取組① 新たな財源を活用した取組の強化

新たな財源の活用に関する情報を収集し、本市での適用可能性を検討し、関連する施策や取組への積極的な活用に取り組む。

取組② 競輪などの既存の事業収益の向上及び活用

新規利用者の獲得を含め、競輪などの既存の財源の収益性を向上させ、市民生活向上の財源として事業収益を一般会計に繰り出し、施策や取組への積極的な活用に取り組む。

施策オ 文化を切り口にしたまちの可能性の拡大

取組① 文化芸術活動を通じたまちづくりの推進

既存の文化芸術関連施設の更なる活用に加え、まちなかにもアートがあふれ、触れられ、感じられ、訪れるものの心を豊かにしてくれるまちづくりに取り組む。

取組② 新図書館などの整備及び活用

多層な人々が多様な形で集まりやすい動機や環境をつくり、周辺関連施設と連携した文化拠点となる公共空間づくりに取り組む。

施策カ 協働による持続可能な地域づくり

取組① 地域力の維持・向上

地域運営組織を活用した「中規模多機能自治」を推進し、地域がある程度の規模感をもって連携・協働し、相互に支え合って地域の課題に取り組める環境づくりに取り組む。

施策キ 誰もが安全安心なまちづくり

取組① 誰もが安全安心なコミュニティの形成

災害時でも自らの身を守る術・知識などを身に付けてもらうため、防災におけるダイバーシティの視点をもって、防災組織の設置・運営、防災訓練、災害時の安全確保などに、地域コミュニティと連携して取り組む。

取組② 災害に強いまちづくり

市民や観光客の安全安心を確保するため、水道などのライフラインの防災・減災、早期復旧の体制整備などに取り組む。

施策ク 健幸を実現するまちづくり

取組① 全ての世代の活躍に向けた健康寿命延伸の推進

健康教室や保健指導などによる生活習慣病の改善、地域による健康づくりに関する取組や住民の健康への意識向上を図り、平均寿命と健康寿命の延伸、平均寿命と健康寿命の差の縮小の実現に取り組む。

取組② 「ゆけむり医療ネット」と連携した医療・保健・福祉環境の強化

別府市医師会を中心とした地域医療・保健・福祉を連携する医療情報ネットワーク「ゆけむり医療ネット」と連携し、医療の質の向上などに取り組む。